



愛隣幼稚園・・・・・・・・・・・・・・・・

園だより

・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 夏休み号

さあ、夏休みです！

くろーばー組の合宿が無事終わりました。ぱら組・たんぼぼ組の人たちには、ちょっと長めの週末をおうちで過ごしてもらいました。またこの合宿にあたっておうちの方には、前日に幼稚園中の大掃除をしていただきました。お陰様でピカピカになった幼稚園で合宿を行うことができました。その2日後には、おやじたちのパワーで靴の棚・パイプ椅子の収納棚を作っていただき、土で半分埋まった山の土管は通れるようにしていただきました。どのことにもご理解をいただき、快く力を貸してくださる保護者の皆様には、本当に感謝です。ありがとうございました。愛隣幼稚園がたくさんの方に支えられていることを心強く感じると同時に、そんなおうちの方たちが愛隣幼稚園の自慢でもあり、とても嬉しいことです。

さて、夏休みがやってきます。正直なところどんな気持ちで夏休みを迎えますか？「さあ大変！夏休みは長いぞ、どうする！！」「平和なのはもって2日か3日、あとは朝から晩まで兄弟喧嘩。」「うれし～夏休みだあ、お弁当作らなくていいぞ～」「さあ、なにをする？なにをあそぶ？ワクワクするね～」などなど、正にポジティブとネガティブが交錯する、そんな感じでしょうか？私の夏休みも、子どもが幼稚園に通い始めた時からほんの2、3年前まで、そんな感じでした。でもふと気がつけば、家族の予定を合わせることさえ難しい、それが<夏休み>になってしまいました。エネルギー消費の激しいごちゃごちゃとした悪戦苦闘の子育ての時間は、いつの間にか終わっていました。（今はまた、質の異なる大変さの中にいますが）その渦中にある時はいつも、早く通過してしまいたいと思います。でも振り返ると、もっとポジティブにあーもこーも出来たのにと感じてしまうのが私の子育てです。だから、暑いけれどばててる場合ではありません！親子の時間を満喫しましょう！

だって、これはほんのいっとき一時なのです。では、何をしましょうか？是非、お願いしたいことは、リアルな体験をしてほしい、ということです。それを子どもだけでなく親子で共有してほしいのです。自分の手・目・耳・鼻・口・足・体を使い、自分で考え、心を動かす、そんな体験ができればいいなあと思います。何も特別なことでなくていいのです。時間がかかるから、といって大人が全部やってしまっている家事のほんの一部でもいいのです。例えば、いつもは<おままごと>という形でしている仮想のお料理を、一緒にやってみるといのはいかがでしょうか。野菜を洗うことから始めて、ちょっと危ない包丁や、火を使う経験も親子で一緒なら是非、挑戦してほしいことです。痛い・熱いの経験もないと困る経験です。だから怖い、できないのではなく、どうしたらいいのか、安全に扱う方法を知るのは、やってみるところから始まります。おいしいものが出来たら、みんなでそろって味わいましょう。家族みんなが「おいしいね」と笑顔になることは、子どもの心を動かします。大事なことは、ここで終わりにしないこと。お料理って片付けまで全部含めてですものね。非日常の体験も、許されるならたくさんしてほしいと思います。早朝の散歩、海水浴、山登り、いつもと違う風が吹いていることを肌で感じます。温度・匂いが記憶に刻まれます。それが心を豊かにします。子どもたちと話していると「知ってるう～！」という言葉をよく聞きます。でも、実はよく知りません。体験を伴わない単なる知識にすぎないこの言葉を、リアルな体験と実感を伴った『知ってる。』に替える夏休みを過ごせたらいいなあと思います。冷房の中でバーチャルの世界に浸っている場合ではありません。是非、リアルな夏休みを！